



三角小だより

7月号

ふじみ野市立三角小学校
令和7年7月1日

【学校教育目標】

- ゆめのある子
・かしこい子 (知)
・やさしい子 (徳)
・たくましい子 (体)



「保護者・地域と 教職員による 子供のための学校」に一步前進

校長 湯本 貴幸

先月6月7日(土)に開催した運動会では、保護者、地域の方々に支えられ、無事終了することができました。大変お世話になりました。当日は、覚悟はしていたものの大変暑い日となりました。学校としては閉会式の短縮等も選択肢のひとつとして掲げ、暑さ対策の準備はしていたものの、おかげさまで熱中症など体調を崩す子も出ず、最後の閉会式まで滞りなく行うことができました。ご家庭で熱中症対策のご協力をいただいたおかげと感謝しております。

さて、今年の運動会では、昨年度のPTAアンケートや、いただいたご意見をできる限り反映することを心がけました。ひとつは「徒競走」の復活です。昨年は民間施設を利用した水泳指導が初めてということもあり、水泳の事前準備と運動会準備を平行で行う必要があったため、徒競走を断念した次第です。今年は学校としても念願の徒競走ができ、子供たちも、さぞ喜んでくれたものと思います。

また、「自転車での来校」については数年前から学校でも検討を重ねてまいりました。今まで実行できなかった理由としては、児童数がこの数年間で大幅に増えたことに加え、コロナ禍で運動会自体が開催できない、もしくは縮小する期間が数年間あったために、それ以前に行っていた「通常」の運動会の状況を知っている教職員がいないことがありました。その結果、混乱を回避するための具体的な方策をたてられなかったことにあります。

しかし、今回はPTAを中心として、事前調査をしてくださり、どのくらいの台数になるのか、自転車で来校する際、混乱しないようにどうしたらよいのかを知恵をしばって考えてくださいました。最終的には、「自転車担当」となる「自転車の誘導ボランティア」を募集することとなり、一定数の人数が確保できたことが今回の「自転車での来校」につながっています。学校だけでは到底踏み込めない部分を保護者、地域の方が担ってくださっていたのです。前日のテント準備や、運動会終了後の片付けには、大勢の方のお力添えをいただき、下校指導をした教職員が集まるころには、ほぼ終了しているような状況でした。教員からは、「子供たちと運動会の余韻を味わえた」と喜びの声があがったり、「こんなにも手伝ってくださる方がいるのですか」と驚いていたり、「ありがたい」という気持ちを数多く聞くことができました。

おかげさまで、目指す学校像にある「真心と調和のあったかな共育～保護者・地域と教職員による子供のための学校～」に一步前進できたように感じています。

「地域協働学校 三角小」を謳って2年目の今年は、他にも、「1年生朝の支度支援」や「低学年給食配膳支援」、今後の予定として読み聞かせの日に併せて、「学校応援団と子供との協働による清掃活動」も予定しているところです。「地域学校協働活動」がより充実することで三角小が「子供のための学校」にアップグレードできればと考えています。

※これから暑さも本番です。体調管理にご留意ください。そして良い夏休みを。